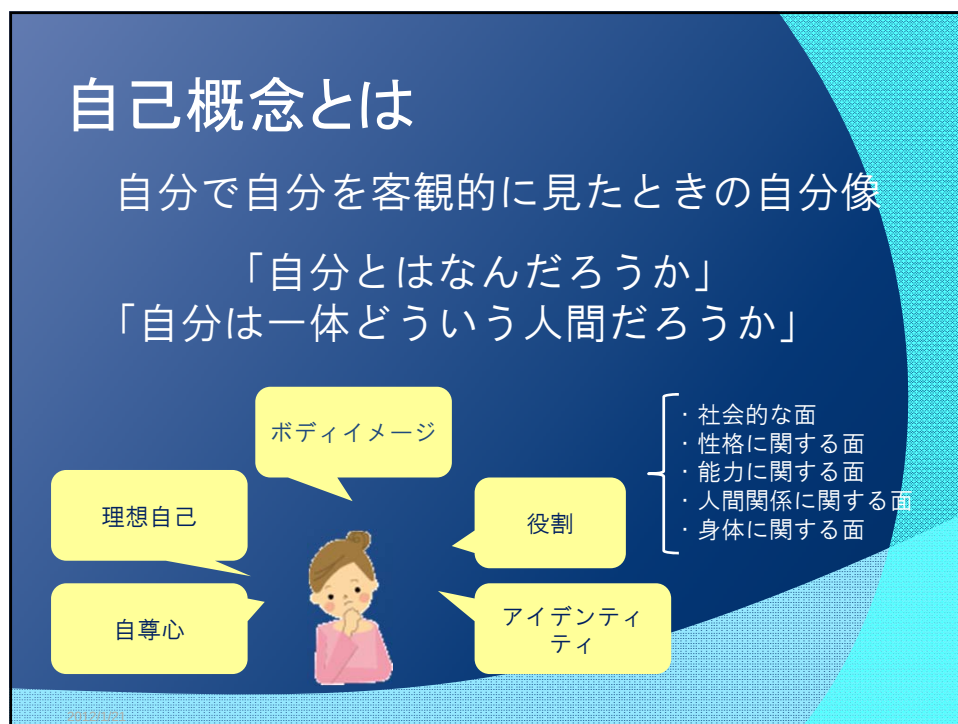
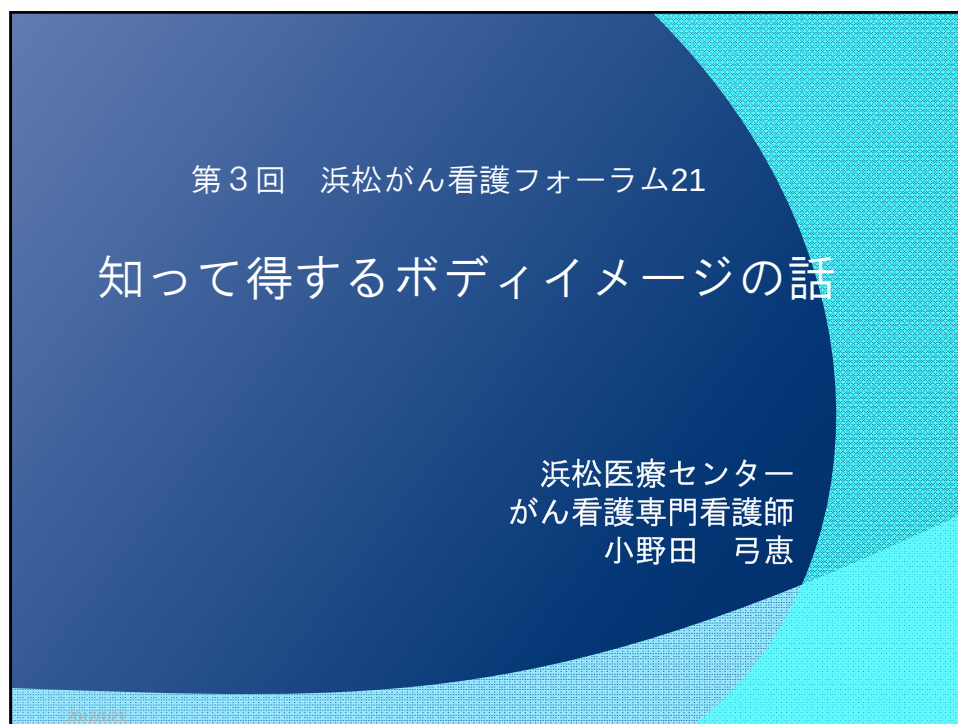
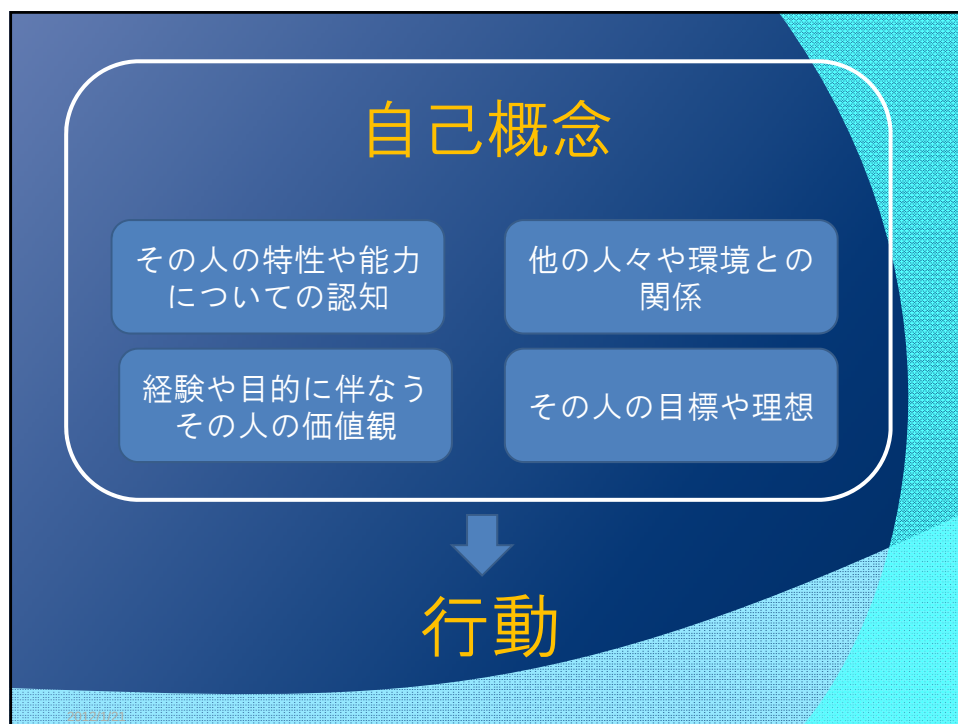






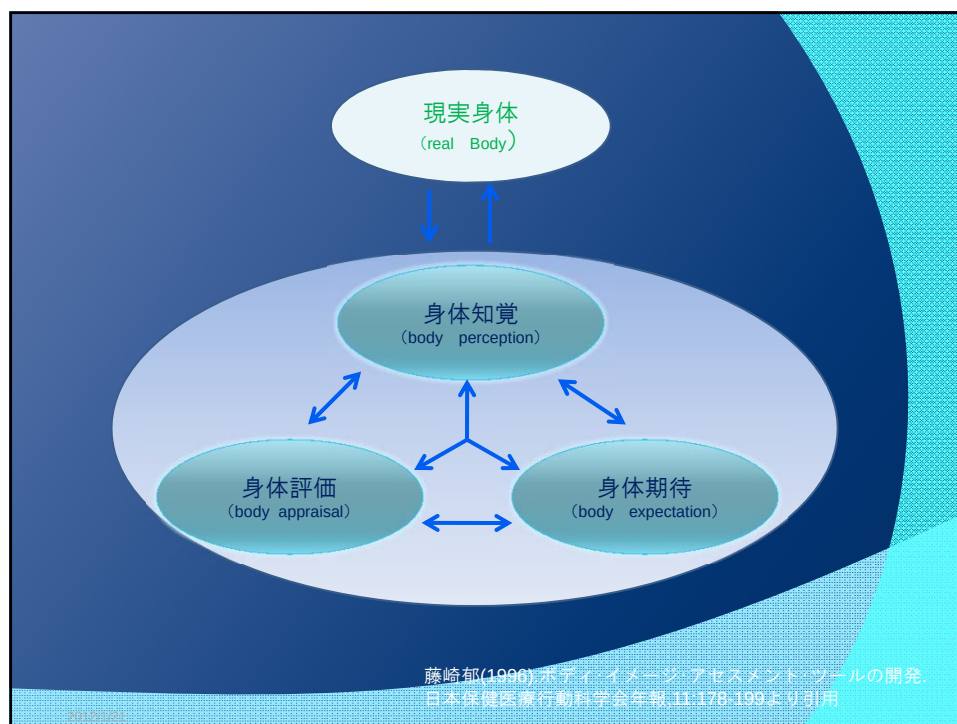
ボディイメージとは

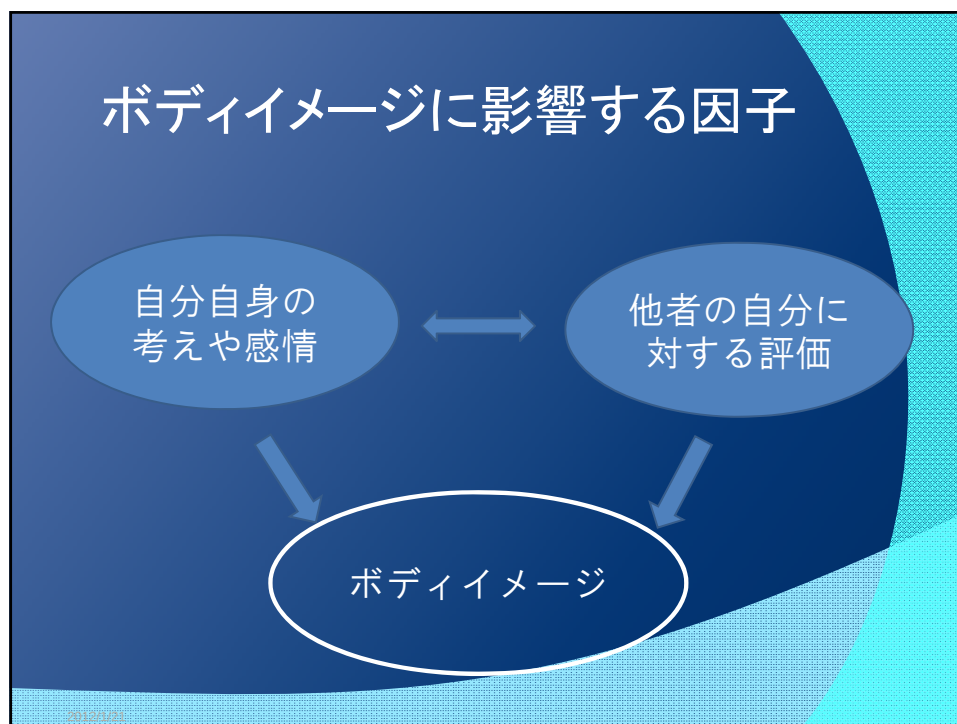
「人が身体についてもつ心像（イメージ）」
「身体に対してその人が持つ意識的あるいは無意識的な認識」

自分自身の身体についての概念

「ボディイメージの形成は幼児期に始まり、
自己の知覚や感覚、友人や重要他者の反応、
文化・社会的価値観をもとに作り上げられ
る。」

絶えず変化する





ボディイメージに影響するもの

- 身体の一部の喪失
四肢や乳房切除、人口肛門の造設、子宮摘出など
- 身体のサイズ、形や外観の変化
脱毛、皮膚トラブル、体重の増減など
- 身体の機能の障害
関節可動域の低下、歩行障害など
- がん罹患することや治療によって生じる体力的な衰えや倦怠感

外観の変化によるものと、
外観以外の変化によりもたらされる影響がある

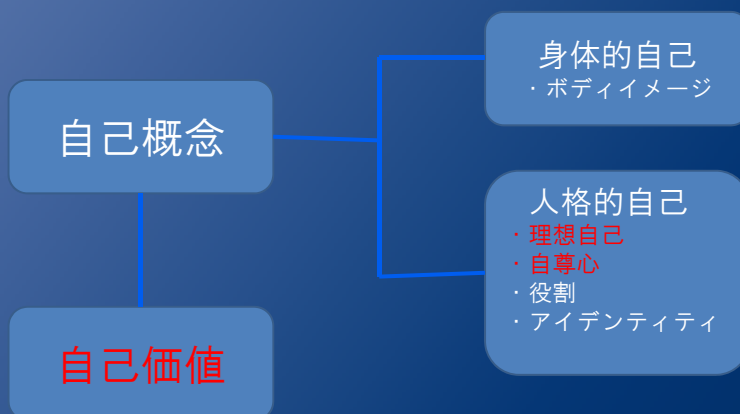
ボディイメージの混乱に影響するもの

- 変化した身体の部分や機能の重要性
- 身体の外観についての価値づけ
- 変化した身体部分の見えやすさ
- リハビリテーションの有効性
- 変化の起こったスピード
- コーピングパターン

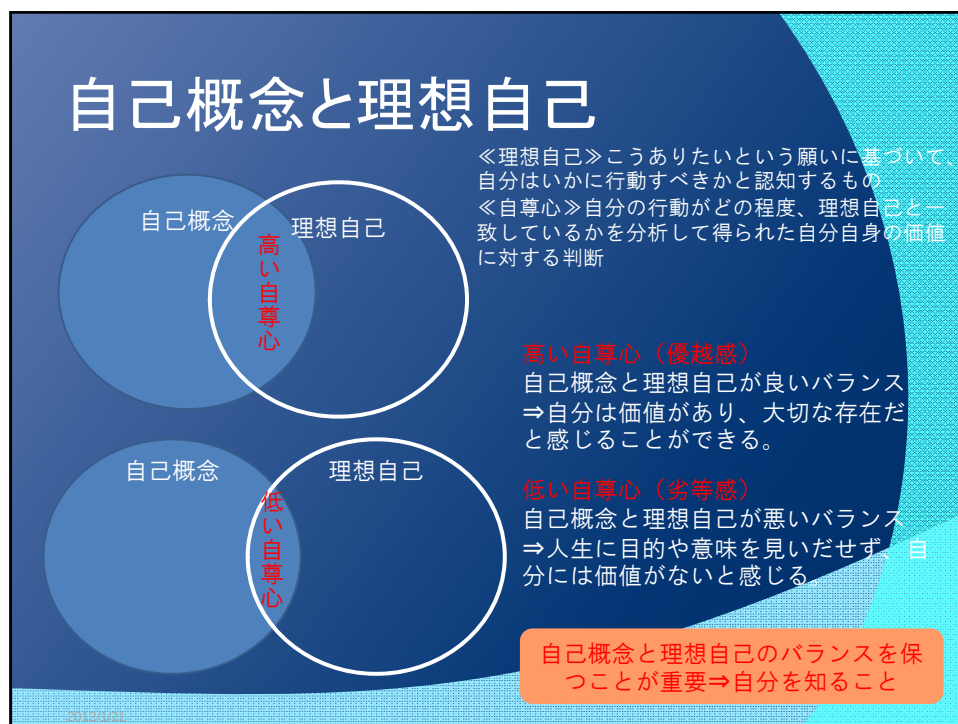
アセスメントすべき項目は、

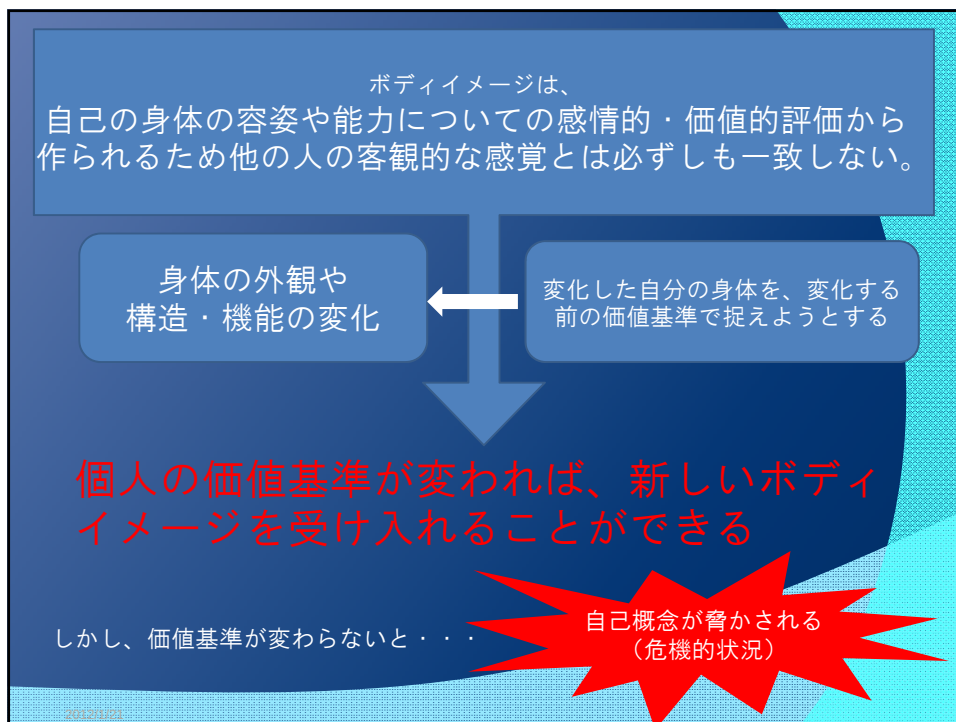
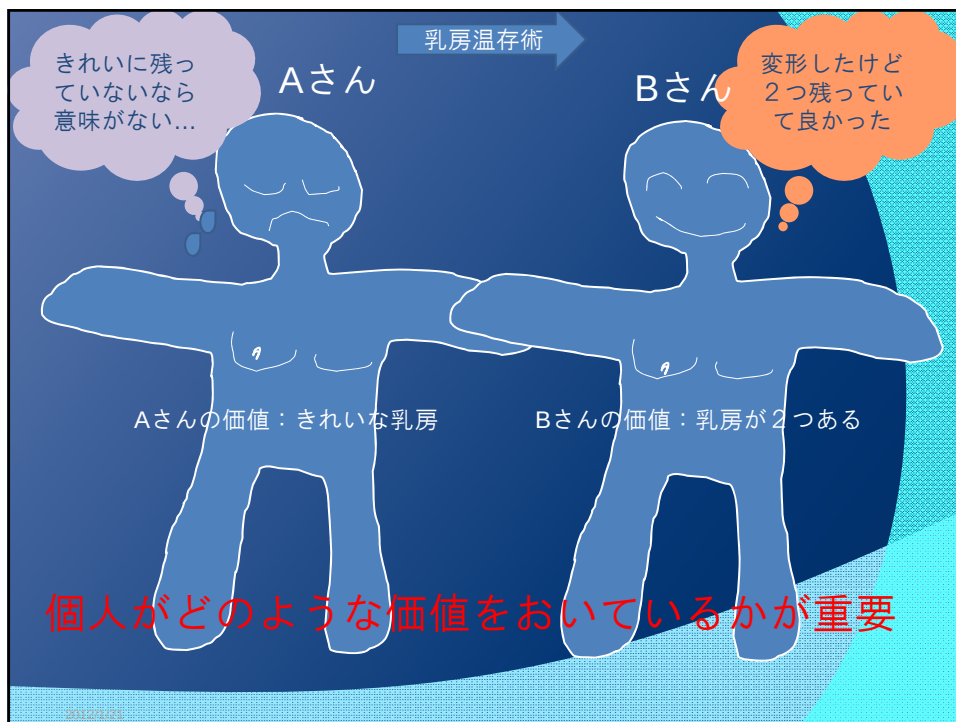
- ・身体にどのような変化をもたらしているのか
- ・ボディイメージにどのような変化をもたらしているのか

ボディイメージと自己概念、自己価値との関係

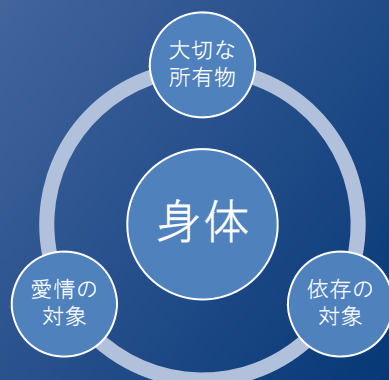


佐藤まゆみ(2004).ボディイメージの変化についての理解とケア. 月刊ナーシング, Vol.24(2), 44-47より一部抜粋





身体の変化に伴う反応



ボディイメージの変化は喪失体験

～対象の喪失に伴う悲嘆反応～
無力感、孤独感、絶望感、悲しみ、怒り

2012.1.21

否定的な自己概念を抱く患者は自分の病気が自分の人生に著しく否定的に作用したり、将来について希望が持てず、楽観的にもなれないと感じて、ますます病気について心配する

Stuart GW編, 樋口康子ほか監修 (1985) : 自己概念の変容,
新臨床看護学大系, 精神看護学 I, 医学書院 p248-251



ボディイメージの問題
(自己概念の問題) に関連する
効果的な看護介入が必要

2012.1.21

ボディイメージが変容した患者への看護

目標：患者が自分の問題への洞察を深め、
行動上の変化を起こすことができる

- 自己実現の促進：その人が自分の感情や願望や心情をより明確に、より深く体験する方向で支援する。
- 価値の変容：本当に大切なものに気づき、自分にできることを知り、自信を持てるように支援する。

1. 自分を知るための環境を整える

信頼関係の確立

- ・ 受容、傾聴
- ・ 考えや感情の表出
- ・ 批判しない

看護師の受容的な態度は、患者が長所も欠点もある1人の人間として、自分自身のすべての要素を安心して自由に分析することを可能にする。



2. 気づきを与える

自分を深く洞察する機会を多く持つ

- ・ 受容、傾聴
- ・ 言語化を助ける

看護師が患者の言葉を繰り返し言うことで、患者は自分の言っていることをより正確に認知することを助ける。患者は自分の思考を言語化されたことで、その思考がより具体的で実際的なものとなる。



3. 患者の問題を共有する

患者の問題について話し合う

- ・ 受容・傾聴
- ・ 開かれた質問

看護師の受容的態度と共感的コミュニケーションを土台とし、質問に答えることで患者は自ら問題に直面し自分のストレスの原因を明確にすることができる。



4. 解決法を見出し目標を立てる

対処方法について話し合う

- ・ コーピングの強化
- ・ なすべき変化を具体的に示す
- ・ 決めたことを尊重する
- ・ 受容・傾聴

患者は理想自己を低めて（価値基準を下げて）、自分になしうるような目標に限定する辛い作業が必要となるが、患者には人生を再構築し自分の成長のための新しい体験となる。

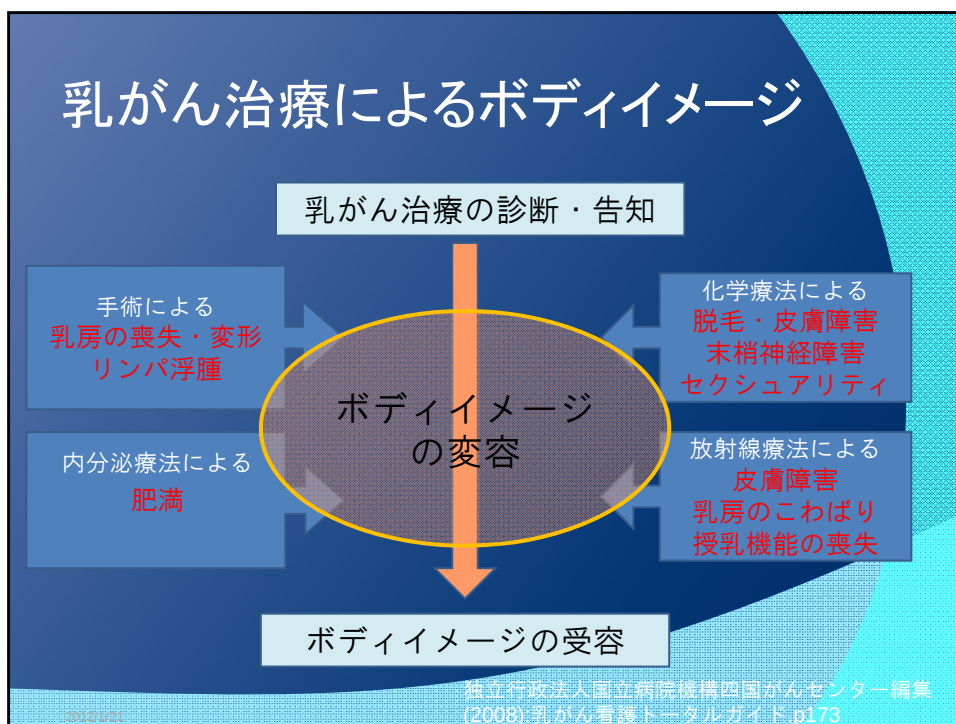


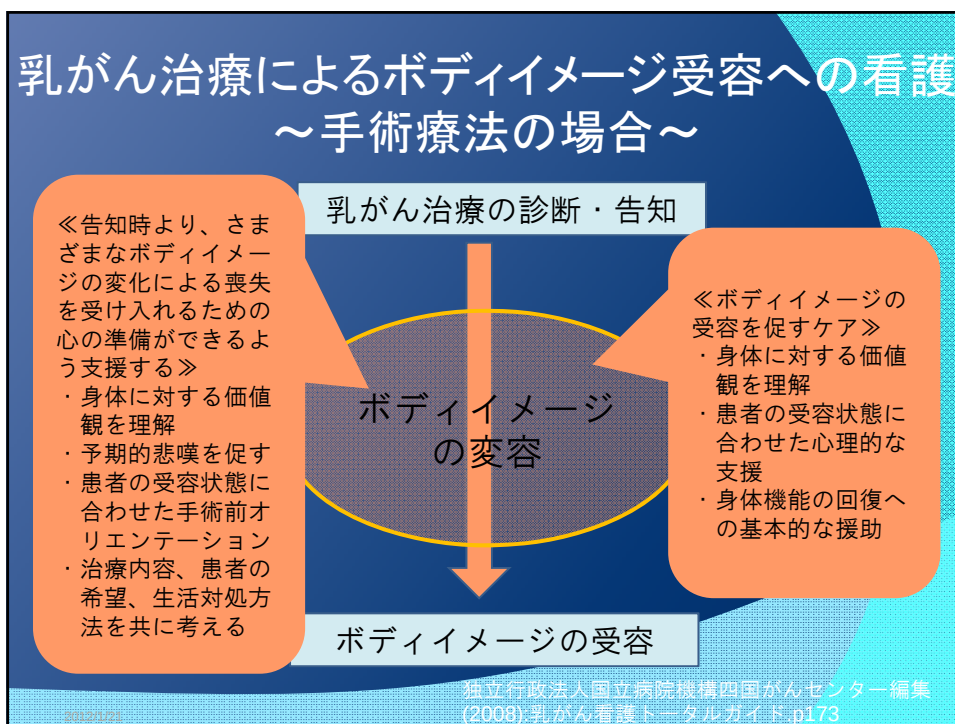
5. 目標達成のための継続的な支援

具体的な行動計画

- ・ 情報提供
- ・ 成功体験
- ・ 家族のサポート

患者が何年もかかって築いた行動パターンから、新しい行動への変容が永久的なものになるために、十分な時間をかける必要がある。患者の可能性や成果を肯定的に強化し患者が前進し続けられるようサポートする。





本日のまとめ

- ボディイメージは心理的に変化をもたらさなければ、変化はしない。よって、ボディイメージの変化と身体の変化は区別する。
- ボディイメージを理解することは、患者の重要な感情や不安や、価値を理解することにつながる。
- 家族や看護師の「身体の外観や構造・機能が変化しても、今までのあなたと少しも変わりがない」という言語的・非言語的コミュニケーションが、人々がボディイメージの変化を受容していくために重要である
- 看護師の役割は、患者のボディイメージの変化への適応を促進するように援助する。